

下水道課主要事業

令和6年2月26日
環境部 下水道課

1. 下水道事業概況（令和4年度末時点）

現在、下水道課では全体計画区域面積 1,146ha のうち、856ha を事業計画区域とし整備を進めています。

概況（令和4年度末時点）

行政人口	58,230 人
処理区域面積	583 ha
整備延長	159.9 km
処理区域内人口	25,692 人
普及率	44.1 %
接続済人口	21,403 人
水洗化率	83.3 %

2. 令和5年度の下水道工事実施状況

三ツ谷あけぼの地区、鷺津地区等の市街化区域を中心に管渠工事を進めており、今年度は約 1,600mの管渠を新たに設置しています。

- ・三ツ谷あけぼの地区 L=452m（杏林堂新居店付近 他1件）
- ・鷺津地区 L=282m（ユニバンス北側）
- ・新所原地区 L=866m（新所原駅北側 他2件）

3. 処理場ストックマネジメント実施計画

湖西・新居浄化センターにつきましては、令和3年度から第一期更新計画として策定した「ストックマネジメント実施計画」に基づき、湖西浄化センターの汚泥脱水設備及び中央監視装置の更新工事や、汚泥処理棟及び管理棟の耐震補強工事を予定しています。※ 新居浄化センターの更新事業は、統廃合の検討中につき、現在休止中。

【概要】

- 工事期間 : 令和5年度～令和9年度
工事内容 : 汚泥脱水設備機械更新工事：令和5年度～令和7年度
汚泥脱水系電気更新工事：令和5年度～令和7年度
汚泥処理棟耐震工事：令和6年度～令和7年度
管理棟耐震工事：令和8年度
中央監視装置更新工事：令和8年度～令和9年度

4. 市内汚水処理の統一化、処理場カーボンニュートラルの検討

湖西市では、令和3年度において環境と経済の好循環による持続可能なまちづくりと『職住近接』の実現に向け、湖西市ゼロカーボンシティを宣言しております。

このため、湖西市ゼロカーボンシティ宣言の柱である「省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等の普及」として、今年度から2ヶ年に渡り、湖西浄化センターにおけるバイオガス発電及び市内汚水処理の統一化に向けた施設統廃合の可能性調査を、環境課及び下水道課で実施しております。

今後、事業の実効性や脱炭素への貢献度などから令和6年度末までに事業実施の有無を決定する予定です。

- ・バイオガス発電等再生可能エネルギー可能性調査業務委託（環境課発注）
- ・施設統廃合等可能性調査業務委託（下水道課発注）

以上